

令和8年度 基本方針・重点目標

愛媛県立図書館

1 基本方針

地域文化の発展と心豊かな生活（ウェルビーイング）の実現に貢献するため、県民の学びと創造を支える「知と情報の拠点」として、図書館サービスの充実と向上を目指す。

2 重点目標

(1) 愛媛の「読む」を広げます

- ・ 館内の利用環境を整備するとともに、デジタル技術を活用した非来館者サービスの拡大に取り組む。
- ・ ホームページ、SNS、広報紙等の活用や関係機関との連携を通じて、県立図書館の機能やサービス内容・有用性等を広く県民に発信し、図書館への関心を高めるとともに新たな利用者の獲得に努める。
- ・ 「愛媛県障がい者プラン（令和6年3月策定）」に基づき、読書バリアフリーの推進に努める。
- ・ 「愛媛県子ども読書活動推進計画（第五次）（令和6年3月改定）」に基づき、ブックトークの実施や読書ボランティアへの研修等の子ども読書活動推進事業を進める。

(2) 愛媛の「学び」を高めます

- ・ 基本的な資料から専門的な資料まで、県民のニーズに応えられる資料の整備に努めるとともに、電子書籍についても充実と利用促進を図る。
- ・ レファレンスサービスの向上に努め、蓄積した情報を効率的に公開する。
- ・ 子育て、医療・健康、ビジネス分野における課題解決を支援するため、関係機関との連携・協力により、情報コーナーの充実を図る。
- ・ 学習支援用協力図書「まなぼん」について、「みきゃん通帳」の機能を活用した読書傾向の分析を行うとともに、学校における積極的な活用を促し、子どもの読書機会の充実と読書活動の支援に努める。
- ・ 家読（うちどく）の推進やパスファインダーの作成により、多様な場面での読書活動を啓発するとともに、学校等と連携して学校図書館の環境整備を支援し、教職員や児童・生徒に対し情報化社会に対応した資質・能力育成の支援に努める。

(3) 愛媛の「歩み」を伝えます

- ・ 県内の郷土資料や行政資料及び俳諧資料を網羅的に収集し、県内外の関係機関との連携・協力を努める。
- ・ 原資料の劣化に備え、貴重な郷土資料のデジタル化を推進し、原本の適切な管理を通じて地域の記録の保存に努める。
- ・ 「第2期愛媛県デジタル総合戦略（令和6年3月改定）」に基づき、郷土資料のデジタルアーカイブの充実を図るとともに、県内外の地域研究等への活用を促進する。
- ・ 本県に関する歴史的資料や俳諧資料等を展示し、県内外に郷土の歴史や文化を発信する。

(4) 愛媛の「図書館」をつなぎます

- ・ 横断検索システムを適切に運営することで相互貸借業務を支援するとともに、遠隔地返却サービスの実施を通じて市町と県立図書館間の資料搬送の円滑化を図る。
- ・ 市町立図書館職員等の資質及び能力の向上を図るため、研修の企画や講師の派遣等を通して研修機会の拡充に努める。また、職員間の効率的な情報交換の場として愛媛県図書館ポータル円滑な運用に努める。
- ・ 図書館未設置町に対し、助言や情報提供など必要な支援を行う。
- ・ 子どもの読書に関する情報の収集・発信を行うとともに、関係機関との連携・協力を深めるなど、愛媛県全体の子ども読書支援センターとしての機能の充実を努める。
- ・ 適正な蔵書管理を図るため、市町立図書館等との連携による蔵書の共同保存や分担保存等について研究する。